

Rehast ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第210号

ななえ古写真物語

VOL.210

福祉の時代

かつての好日園
昭和50年ころか
本町地区



Nanae Historical
Museum Collection

戦後、渡島管内の各町村では、多くの要扶助者を抱えていたことから、養老院（老人ホーム）の必要性が高まった。このことは、昭和30年に開催された渡島管内福祉大会において「道立養老院の管内設置促進の件」が満場一致で可決され、渡島支庁長へ実現の要望がなされたほどだから、社会的な課題とされていたことが伺える。

しかしながら、渡島支庁長の努力もむなしく、実現には至らなかったため、各町村長が協議し、管内の町村による共同設置が検討され、七飯町に設置することになった。それが、昭和32年に入園者31名をむかえて開園した「七飯町立渡島養護老人ホーム好日園」で、開所時の施設近景が、今回紹介している写真である。

また、昭和40年代に入ってから、町内の各地区に老人クラブが続々と誕生し、昭和42年には七飯町老人クラブ連合会が組織された。さらに昭和45年には、社会福祉センター（現在の本町地域センター）が完成。福祉分野だけでなく多種多様なイベントの開催に使われたほか、町主催の老人福祉大会が毎年開かれ、講演や参加者による歌や踊りなどの催しが行われるようになった。

このように、昭和40年以降の七飯町は、福祉分野に力を入れた町づくりが行われてきたといえる。

さて、好日園についてだが、設立主体は渡島管内17市町村で、経営主体は七飯町が行った。敷地約10,000㎡に、約2,550㎡の簡易耐火コンクリートブロック造りの施設を建造し、ほか温室や石炭庫、貯水池も複数配していた。上の写真は玄関棟しか写っていないが、その後ろに、ほか2棟が平屋続きで並列する構造となっており、部屋数は、大小あわせて33室、定員150名の受け入れを可能とし、園長をはじめ計23名の職員が対応していた（昭和49年当時）。

在園者には週1回定期健診を行い、必要に応じて入院させるといった医療面のケアをしながら、一年の行事として、運動会や遠足、演芸会や作品展なども行われ、入園者の健康保持と教養の向上にもつとめていたようだ。

また、渡島管内の町村による共同設置ということもあり、昭和49年の入園者は渡島管内の17市町村をはじめ、檜山や江別市からの受け入れもあり、計144名の方々が在園していたというデータが残っている。

好日園は、平成8年に現在の中野地区に移転。跡地はしばらく原野となっていたが、平成22年に、七飯ほんちよう保育園の新園舎が建設され移転している。世代が違えども、この場所は、今も昔も、福祉に貢献している場といえるだろう。

31日 ジュニア探検クラブ

午前中は、まち歩きをテーマに、歴史館の周りを散策しました。繰り出しルーペを手を持ち、視線を落として、コケの観察。また、古木の太さを、手をつないで体感したり、神社にお詣りもしました。自分の住んでいる町の、まだまだ知らない場所がたくさんあることを学びました。まちを「知る」という体験は、今後の人生に、きっと小さな足跡を残してくれるでしょう。午後は、勾玉づくりを行いました。四角く切った軟石を小刀と紙やすりを使い、仕上げていきます。根気よく続け、それぞれの勾玉が上手にできあがりました。



官園の植物育てています。

当館の第一野草園では今年、4種の植物を新たに植えています。いずれも明治11年に勸業試験場で育成されていた、ホウセンカ、マリーゴールド、ヒマワリ、アスターです。品種改良が進む園芸植物は、当時の姿とは、かなり異なると思います。興味をもって見て頂くと嬉しいです。タネから育て、やがて双葉が出て、花を咲かせるまで、お天気と相談しながら、管理をしていきます。表示板も今年から新調しました。そちらも合わせてご覧ください。



ロビー展が始まっています。

一昨年の企画展「つつむ。」は、多くの方にご来場頂きました。続編を期待される声もあり、ロビー展として小さなブースを設け、行っています。冷凍食品、ドリップコーヒー、スナック菓子、職員それぞれが担当したものを、隙間なく展示しています。これらは食べてしまうとすべてゴミ。しかし買うときは、味はもちろんですが、パッケージのデザインを気にして買うこともあるでしょう。閉所な空間ですが自身が包まれる、という体験をしに来ませんか？



7月の予定

1	火	ロビー展開催中
2	水	
3	木	夜の博物館 第2夜
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	休館日
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	休館日
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	ピチャリ第211号発行
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	休館日
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	ジュニア探検クラブ
27	日	
28	月	休館日
29	火	
30	水	
31	木	

※休館日：7日、14日、22日、28日

ハンドカード

刈り取って、洗った羊毛を梳く道具です。ラテン語のあざみ(car-duus)に語源をもちます。



編集後記 ~tawagoto~

この植物はなにかわかりますか？と持参した植物のお問い合わせを頂くことがある。樹木で花がついていない場合は、葉の特徴や枝などから類推をしていく。葉の脈の数を数えたり、長さや幅、毛や柄の有無など、図鑑とにらめっこだ。やがて、たった一枚の葉から多くの情報があることがわかってくる。点と点をつなぎ、一本の植物の「名」に辿りつく。全体を見ることばかりではなく、細部にこそ「確かなもの」があることをわかる時間は、有意義だ。

Pichari ~ピチャリ~

第210号

令和7年(2025年)6月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp